

いじめは絶対に許さない！！ ～いじめをなくすための提言～

いじめを理由に、子どもたちが自殺するという悲しい事件が発生しています。

今、このときでもいじめを受けて悩み、苦しみ、学校へ行きたくても行けない子どもたちがいます。釧路市PTA連合会は、子どもの大切な「命」を守り、輝く未来のためにいじめを絶対に許しません。

【子どもたちへ】

- ◎ 今、いじめをしている人はすぐにやめてください。
 - ★ 人をいじめることは、人として絶対に許されません。
 - ★ いじめをしているあなたへ
いじめられている人の気持ちを考えてみませんか。
傷つき、悩み、苦しみ、学校にも行けなくなるなど、とても悲しいことだと思いませんか。
- ◎ 今、いじめを受けている人はすぐに家族や学校の先生に相談してください。
 - ★ 一人で悩まないで、学校の先生や保護者など周囲の大人に知らせてください。
家族や学校の先生は、あなたを助けますから信頼して話してください。
- ◎ いじめを見たり聞いたりした人は、知らないふりをしないで、家族や学校の先生を信頼して必ず大人の人に知らせてください。
 - ★ いじめは犯罪です。いじめを受けている人は死にたくなるほど苦しんでいます。勇気を持って、いじめを大人の人に知らせることは正しい行為です。

【家族の方へ】

- ◎ お子さんの様子を注意深く観察し、気になることは学校に問い合わせるなど早期の発見に努めてください。
 - ★ 日頃から子どもの学校生活に関心を持って、いじめについてもよく話し合ってください。
 - ★ 人をいじめたり、いじめられたりすることは、わが子にも起こりうるという危機意識を持って、子どもの様子をしっかりと観察してください。

【学校の先生へ】

- ◎ 先生は、日頃から子どもたちの生活や人間関係の把握に努め、いじめの兆候など見逃すことのないよう目配りを怠らないようにしてください。
 - ★ いじめられている子どもの立場に立ち、親身に指導を行ってください。
 - ★ いじめられている子どもや、いじめを知らせたことによる逆恨みなどの不安については、徹底して子どもを守るという信頼関係を築いてください。
 - ★ いじめの内容にかかわらず、担任が1人で解決しようとするのではなく、校長を始めとした学校全体で適切な対応を図ってください。
 - ★ いじめは人として絶対に許されないことを子どもたちに徹底させ、いじめをはやしたり、知らないふりをすることはいじめと同じであることを教え、いじめを大人に伝えることは正しい行為であるということを子どもたちに教えてください。